

平成28年度

豊川市の予算の姿



豊川市宣伝部長
兼おもてなC部長
©いなりん

平成28年度豊川市一般会計予算額 604 億 8,000 万円

「福祉と文化、そしてスポーツの盛んなまちづくり」を目指した予算

一般会計は6.5%増 604億8千万円 過去最大

1	ファシリティマネジメントの推進	P 1	12	チャレンジとよかわ活性化補助事業の実施	P12
2	クレジットカード納付事業の実施	P 2	13	赤塚山公園改修事業の実施	P13
3	市民活動事業の推進	P 3	14	平和公園(仮称)整備事業の実施	P14
4	公演及び展示事業の実施	P 4	15	空家等対策の推進	P15
5	就労準備支援事業の実施	P 5	16	立地適正化計画の策定	P16
6	介護施設等整備事業への補助	P 6	17	高規格救急自動車整備事業の実施	P17
7	認知症カフェ運営への補助	P 6	18	自主防災会活動費補助の拡充	P18
8	子ども・子育て支援対策事業の実施	P 7	19	災害用マンホールトイレ整備事業の実施	P19
	①利用者支援事業の実施	P 7	20	小中学校普通教室空調設備設置事業の実施	P20
	②地域型保育事業の実施	P 8	21	トイレ改修事業の実施	P20
	③私立幼稚園就園奨励費補助の拡充	P 8	22	菖小学校校舎改修事業の実施	P21
	④産前・産後ヘルパー利用費への補助	P 9	23	一宮東部小学校校舎改修事業の実施	P21
9	地球温暖化対策事業の実施	P10	24	英語力パワーアップ事業の実施	P22
10	とよかわ環境保全促進フェア(仮称)事業の実施	P10	25	旅籠大橋屋保存整備事業の実施	P23
11	資源化施設整備事業の実施	P11	26	電子図書館の運営	P24

ファシリティマネジメント推進事業

事業費 45,159 千円

本市が保有する公共施設の多くは、築30年以上経過しており、今後集中的に設備投資を行わなければならない時期を迎えます。

一方で、人口の減少、少子高齢化が進むなか、多くの類似施設を保有し続けることは、厳しい財政状況から困難であることが予想され、公共施設を適切に保全しながら有効に活用することが求められています。

平成27年度策定の公共施設再編まちづくり計画(小坂井地区)を踏まえ、引き続き地元住民との対話等を進め、公共施設再編整備基本計画を策定します。また、公共施設整備量の効率化及び平準化を進めるため、劣化調査や建築保全システムの再構築を行います。

【平成28年度の主な事業内容】

- ・小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定委託
- ・公共施設劣化調査委託

＜平成27年度の取組み＞

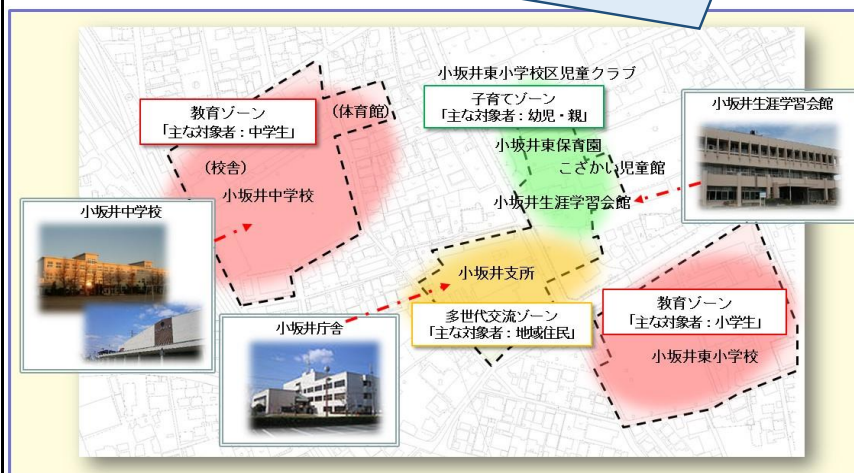
公共施設再編まちづくり計画(小坂井地区)の策定
地元住民との意見交換会及び小坂井中学校WSの実施



意見交換会及び現地視察の様子

小坂井中学校ワークショップの様子

平成28年度:小坂井地区の検討ゾーンについて、引き続き地元住民との対話等を進めます。



公共施設再編まちづくり計画(小坂井地区)の検討ゾーンの考え方

担当課: 財産管理課(旧管財契約課) TEL: 0533-89-2108

クレジットカード納付事業

事業費 6,426 千円

平成29年度より納税方法にクレジットカード納付を追加

- ・平成28年度はシステム改修を実施します。
- ・平成29年度よりクレジットカード納付が可能となる予定です。

◆クレジットカード納付のメリット

パソコン等をインターネットに接続できる環境さえあれば、現金の手持ちがなくても、24時間いつでも納付でき、クレジットカード会社のポイントもたまります。

◆クレジットカード納付税(料)目

個人市民税・県民税

固定資産税・都市計画税

軽自動車税

国民健康保険料

クレジットカード納付

期限内に納付

現金等の持ち合わせが無い場合でも、期限内に納付が可能です。

24時間いつでも

時間を気にせずいつでも納付できます。



ポイントもたまる

クレジットカード会社のポイントもたまります。

担当課：収納課

TEL：0533-89-2162

市民活動推進事業

事業費 1,281 千円

市民協働によるまちづくりを推進し、とよかわボランティア・市民活動センターと連携した各種講座、研修、人材育成に取り組みます。

【平成28年度の主な取り組み】

◆市民協働推進事業費補助【1,000千円】

◆市民活動講座【226千円】

◆市民向け協働研修【25千円】

・一般市民、ボランティア・市民活動団体、更には企業を含めた協働研修を行い、協働意識の醸成に取り組みます。

◆夏休みボランティア体験【30千円】

・若年層を対象としたボランティア体験を行い、多様な分野への体験を通じて、新たな階層の人材育成に取り組みます。



市民協働推進事業費補助の採択例



公開審査の様子



事業例:「音羽川音楽祭～GO WEST～」
【信楽会】



事業例:「農産物等の栽培を通じた食育推進事業」
【ノーコン会】



各種講座、研修事業



「ボランティア・市民活動体験・養成講座」

担当課: 市民協働国際課 TEL: 0533-89-2165

文化ホール公演事業及び展示事業

事業費 44,677 千円

◆文化ホール公演事業・・・【26,087千円】

質の高い音楽にふれる機会として、日本を代表するラテンジャズ・ビッグバンド、熱帯JAZZ楽団によるコンサートを文化会館大ホールで開催します。

また、ドラマ「ルーズヴェルト・ゲーム」、「下町ロケット」に出演し、古典落語の名手として名高い、立川談春の独演会を開催します。

◆桜ヶ丘ミュージアム展示事業・・・【18,590千円】

美術企画展として、「第20回桜ヶ丘ミュージアム美術展」、「郷土作家宮嶋政穂展」、「第31回風景の会絵画展」、「シャガール展」、「現代美術展」、「第52回豊川市民展」を開催します。

歴史企画展として「人びとのくらしと災害展」、「豊川海軍工廠展」を開催します。



熱帯JAZZ楽団



立川談春(写真:鈴木心)



宮嶋政穂展作品



現代美術展 加茂那奈枝作品



現代美術展 古川あいか作品

担当課: 文化振興課

TEL: 0533-84-8411

就労準備支援事業

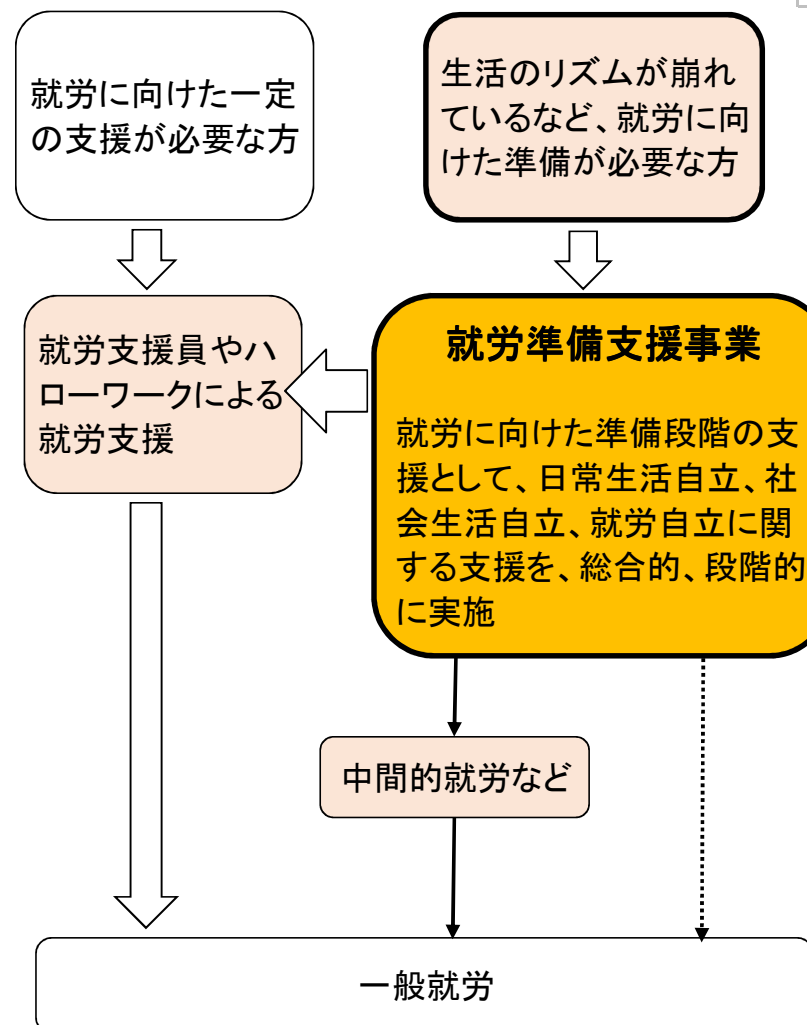
事業費 6,000 千円

◆一般就労に向けた準備として、基礎能力の形成からの支援を実施します。

心身機能の障害があり、社会的障壁(社会のかべ)によって日常生活に様々な困難が生じている方は、就労に向けた課題をより多く抱えています。生活困窮者や被保護者の方のうち、障害などにより一般就労が困難な方の就労に向けた準備として就労準備支援事業を実施し、日常生活習慣の改善や就労意欲の喚起を図るため下記の取り組みを行います。

1	日常生活自立支援	昼夜逆転など社会生活を営む基本的な生活習慣が不十分な方に対し、自らの健康管理や生活管理を行う意識の醸成を図ります。
2	社会生活自立支援	社会参加のために支援が必要な方に対し、ボランティア活動や職場見学など、社会参加能力を身につけるための指導・訓練を行います。
3	就労自立支援	一般就労に向けた実践的支援が必要な方に対し、就労体験の場の提供や模擬面接の実施など、具体的な準備支援を行うとともに、求職活動支援や、就職後の職場定着支援等を併せて行います。

支援の流れ(イメージ)



担当課: 福祉課

TEL: 0533-89-2151

介護施設等整備事業費補助事業

事業費 463,106 千円

平成27年度に公募選定した地域密着型サービス事業所（原則として豊川市民のみが利用できる介護保険の施設等）の建設費等に補助金を交付し、介護施設入所待機者の解消と、住み慣れた地域で継続して安心な生活が続けられる環境整備の促進を図ります。

○地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模な特別養護老人ホーム）3 箇所

○複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）1 箇所



小規模な特別養護老人ホーム(イメージ)

認知症カフェ補助事業

事業費 1,200 千円

認知症の方とその家族、地域住民の集いの場であり、専門家への相談も可能な「認知症カフェ」を開催する団体に対し、運営にかかる費用を対象に開催回数に応じて補助金を交付し、その拡充を図ります。

平成27年から介護サービス事業者等による「認知症カフェ」が行われており、平成28年1月現在、市内9箇所で開催しています。既存の開催団体の支援を行うとともに、新たな「認知症カフェ」の設置を促進します。



担当課：介護高齢課

TEL:0533-89-2173

子ども・子育て支援対策事業①
利用者支援事業

事業費 10,998 千円

「子育てするなら豊川市」

◆利用者支援事業を実施します。

妊娠期からの支援が必要な家庭に対し、子育て支援サービス等を円滑に利用できるよう、身近な実施場所で情報の収集と提供を行い、個々のニーズに併せた助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整などの支援を行います。

- 保健センターと子育て支援センターにそれぞれ専門員を配置し、密接に連携をしながら、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のないきめ細かな支援を行います。
- 専門員による助言などは、窓口で相談者が出向いたり、電話による相談のほか、専門員が個々のご家庭や児童館など地域の子育て拠点に積極的に出向いて行います。
- 地域の子育て支援関係者・関係機関(子育て支援NPO、社会福祉協議会、主任児童委員、児童館、児童クラブ、小学校、保育園、幼稚園、保健所など)でネットワークを作り、地域で連携しながら支援を行う体制を作ります。

利用者支援事業

保健センター



子育て支援センター



連携

相談



助言



連携



関係機関

- ・子育て支援NPO
- ・社会福祉協議会
- ・主任児童委員
- ・児童館、児童クラブ
- ・小学校、保育園、幼稚園
- ・医療機関、保健所
- ・児童相談所 等

担当課: 子育て支援課(旧子ども課)
保健センター

TEL: 0533-89-2133
0533-89-0610

子ども・子育て支援対策事業②③ 地域型保育事業、私立幼稚園就園奨励費補助

事業費 18,237 千円

「子育てするなら豊川市」

◆地域型保育事業を実施します。

子ども・子育て支援新制度で創設された地域型保育事業のうち、小規模保育事業(3歳未満児を対象に、定員6~19人の少人数できめ細かな保育を行う)を実施する事業者に対し保育に要する費用を給付し、需要の高い3歳未満児の保育の受入拡大に対応します。

また、小規模保育事業所に勤務する職員の処遇改善を図るため、本市の規定を超えて配置した職員の人件費の一部を事業者に対して補助します。

※平成28年4月開設予定小規模保育事業所 たいよう保育園

事業費 166,505 千円

「子育てするなら豊川市」

◆私立幼稚園就園奨励費補助を拡充します(入園料分)。

私立幼稚園就園奨励費補助について、従前からの補助に加え、入園料相当分(上限15,000円)を補助します。



子ども・子育て支援新制度は、「量」と「質」の両面から子育てを社会全体で支えます。



保育所
0~5さい

就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設

利用時間 夕方までの保育のほか、園により延長保育を実施。

利用できる保護者 共働き世帯、親族の介護などの事情で、家庭で保育のできない保護者。

NEW

地域型保育
0~2さい



保育所(原則20人以上)より少人数の単位で、0~2歳の子どもを保育する事業

利用時間 夕方までの保育のほか、園により延長保育を実施。

利用できる保護者 共働き世帯、親族の介護などの事情で、家庭で保育のできない保護者。

※地域型保育では、保育内容の支援や卒園後の受け皿の役割を担う連携施設(保育所、幼稚園、認定こども園)が設定されます。

4つのタイプ

① 家庭的保育(保育ママ)
家庭的な雰囲気のもとで、少人数(定員5人以下)を対象にきめ細かな保育を行います。

② 小規模保育
少人数(定員6~19人)を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと、きめ細かな保育を行います。

③ 事業所内保育
会社の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育します。

④ 居宅訪問型保育
障害・疾患などで個別のケアが必要な場合や、施設が無くなった地域で保育を維持する必要がある場合などに、保護者の自宅で1対1で保育を行います。

担当課：保育課(旧子ども課) TEL：0533-89-2274

子ども・子育て支援対策事業④
産前・産後ヘルパー利用費補助

事業費 630 千円

「子育てするなら豊川市」

◆産前・産後ヘルパーの利用費を補助します。

妊娠中または出産後で、身内の支援が受けられない方が、家事支援等のヘルパーを利用した場合、利用額の半額程度を補助することで、母親の負担を軽減し、安定した子育てを支援します。

【補助の概要】

利用期間	母子健康手帳交付後から生後2ヶ月になるまで
内容	掃除、洗濯、調理、買い物等日常生活上の家事
補助額	1時間当たり350円

※補助を希望される方は、事前に保健センターにご連絡ください。



【産前・産後ヘルパー利用費補助利用の流れ】

1. 保健センターに申請
- ↓
2. ヘルパー事業所に依頼
- ↓
3. サービスの利用
- ↓
4. 領収書と利用実績を保健センターに提出



担当課：保健センター

TEL：0533-89-0610

地球温暖化対策事業

事業費 16,200 千円

◆住宅用地球温暖化対策設備補助事業を実施

- ・太陽光発電システム (15,000円/kw × 4kw(上限) × 150基)
- ・ホームエネルギーマネジメントシステム【HEMS】(20,000円/基 × 35基)
- ・燃料電池システム (50,000円/基 × 20基)
- ・リチウムイオン蓄電池 (50,000円/基 × 20基)
- ・電気自動車充電設備 (25,000円/基 × 4基)

◆クリーンエネルギー自動車購入費補助事業を実施

- ・電気自動車、プラグインハイブリッド車 (100,000円/台 × 各20台)
- ・燃料電池車 (200,000円/台 × 2台)



「とよかわ環境保全促進フェア(仮称)」事業

事業費 1,950 千円

◆「とよかわ環境保全促進フェア(仮称)」の開催

市民に対して環境への意識啓発及び環境活動を行っている企業や市民団体を紹介する機会を提供し、環境にやさしい地域づくりの推進を図るため、とよかわ環境保全促進フェア(仮称)を開催します。

「とよかわ環境保全促進フェア(仮称)」イメージ写真 (平成22年度COP10関連事業より)



担当課：環境課

TEL：0533-89-2141

資源化施設整備事業

事業費 1,524,334 千円

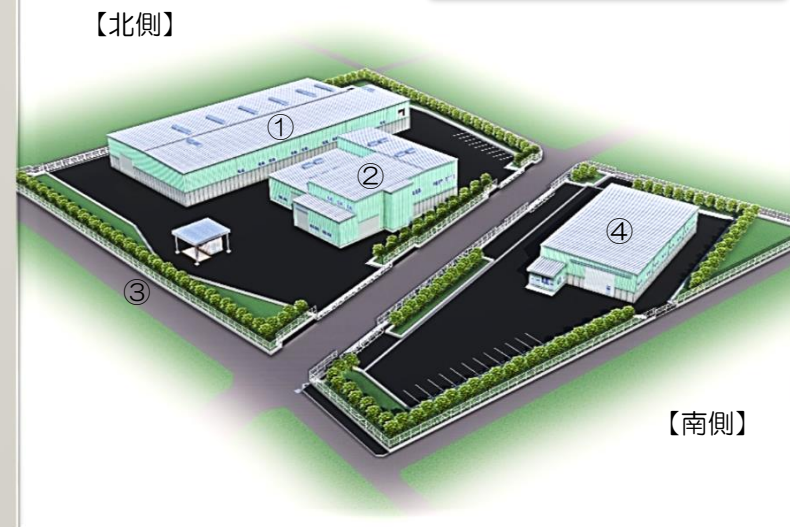
◆ 平成27年度、平成28年度の2か年で資源化施設の整備工事を行っています。

豊川市では、効率的なごみの減量化、リサイクルの推進及び既存ごみ処理施設の延命化を図るため、新たに資源化施設を整備しています。

新設の刈り草・剪定枝破碎堆肥化施設は、現在、焼却処分されている公園等から排出された刈り草や剪定枝を破碎処理して、チップや土壌改良材へと資源化する施設です。

施設	刈り草・剪定枝破碎堆肥化施設	不燃ごみ選別施設	資源選別施設	紙・布類ストックヤード
処理対象	刈り草・剪定枝	不燃ごみ	金属・缶類 びん類	紙類、布類
処理内容	草と枝は破碎し枝の一部をチップ化し、残りは発酵させ堆肥化	危険物等の除去後、破碎し、資源化可能な金属等を選別	金属・缶類は鉄とアルミに、びん類は透明、茶色など色選別し資源化	全ての紙・布を一箇所に集約し、異物除去を行い一時保管
処理能力	16.0t/日	6.0t/日	金属・缶類 2.2t/日 びん類 5.2t/日	500㎡

資源化施設 パース図



【工事概要】

- ・工事場所：豊川市長草町地内
- ・総敷地面積：14,682.19㎡
[北側10,261.54㎡ ・ 南側4,420.65㎡]
- ・総建築面積：3,964.64㎡
[北側 3,252.32㎡ ・ 南側 712.32㎡]
- ・総工事費：1,642,109千円（施工監理費含む）（H27～H28）
- ・建築概要：① 刈り草・剪定枝破碎堆肥化施設
② 不燃ごみ選別・資源選別施設
③ 計量棟
④ 紙・布類ストックヤード
- ・工期：平成29年3月竣工（予定）

担当課：清掃事業課

TEL：0533-89-2166

チャレンジとよかわ活性化補助事業

事業費 20,000 千円

◆ 市内における産業の活性化を目的として、創業、中小企業経営、「とよかわ」ブランド推進、イベント開催の4分野における補助事業を実施します。

○創業支援・・・市内に事業所を置き、事業を営む予定の創業予定者又は創業者(概ね創業してから1年以内)に対して創業にかかる費用の支援を実施します。

○中小企業経営支援・・・経営革新計画の認定を受けた中小企業者の方へ計画実施に係る費用の支援を実施します。

○「とよかわ」ブランド推進支援・・・「とよかわ」ブランドの認定を受けた商品の販売推進に係る費用の支援を実施します。

○イベント開催支援・・・市内商工業の振興を目的とした新規に開催されるイベントの費用について支援を実施します。

補助事業	創業支援	中小企業経営支援	「とよかわ」ブランド推進支援	イベント開催支援
補助率及び補助上限額	1/2、50万円 (中心市街地及び拠点地域においては補助率2/3補助上限額100万円)	1/2、50万円	1/2、50万円	1/2、50万円 (2年目以降は補助上限額40万円 3か年度まで補助対象とします)
補助対象経費	・店舗・事務所の開設に伴う外装工事・内装工事の費用 ・店舗及び事務所で使用する機械装置・工具・器具・備品の調達費用	飲食代、景品代、消費税等を除く、承認を受けた経営革新計画の実施に係る費用	飲食代、景品代、消費税等を除く、「とよかわ」ブランドの推進にかかる委託費、展示会出展料等の費用	飲食代、景品代、消費税等を除く、事業達成に必要な事務費等。 ただし、備品購入費や施設整備にかかる費用に対する補助額は、補助額全体の2割までとする。
要件	1. とよかわ創業・起業支援ネットワークによる「特定創業支援事業」の認定を受けること 2. 商工会議所・商工会の指導を継続的に受けること	愛知県知事に「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第9条に記載された経営革新計画の承認を受けること	1. 「とよかわ」ブランドの認定を受けること 2. 対象商品に必ず「とよかわ」の名称を含むこと	1. 先進性、モデル性等地域の創意工夫があること 2. 市内における商工業振興への波及効果が高いこと 3. 本市における商工業振興の視点から整合性が取れていること 4. 事業の実施が確実で熟度が高く、数か年度に渡って事業の継続実施が見込まれること

担当課：商工観光課

TEL: 0533-89-2140

赤塚山公園改修事業

事業費 225,000 千円

◆市民のスクエアを人工芝化します。

市民のスクエアは赤塚山公園が平成5年に開園して以来、市民に愛され、各種イベントやスポーツに利用されています。

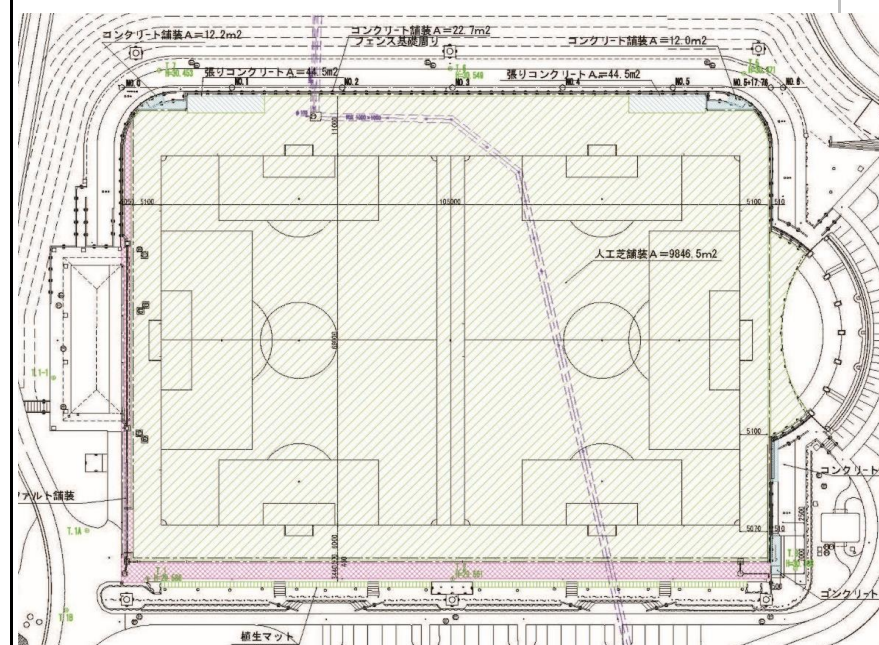
開園当初、天然芝で覆われていたグラウンドは劣化が進み、土を補充し整備しています。

平成28年度にグラウンドを人工芝にて全面改修しグラウンドの状態を良好に保ち、スポーツやイベントなど、多目的に安心して利用できる広場にします。

【事業概要】

- ・改修工事 220,000千円
- ・備品購入 5,000千円

実施設計平面図



【工事概要】

- ・整備面積 10,350㎡
- ・施工期間 平成28年7月～平成29年3月（予定）
- ・工事内容 グラウンドコート整備工（人工芝）

担当課：公園緑地課

TEL：0533-89-2176

平和公園（仮称）整備事業

事業費 904,893 千円

◆平和公園（仮称）を整備します。

豊川海軍工廠にあった施設を保存公開し、ボランティアガイドにより工廠の歴史、そこで起こった事実を伝えることで、来園者に平和を感じてもらふ施設を整備します。

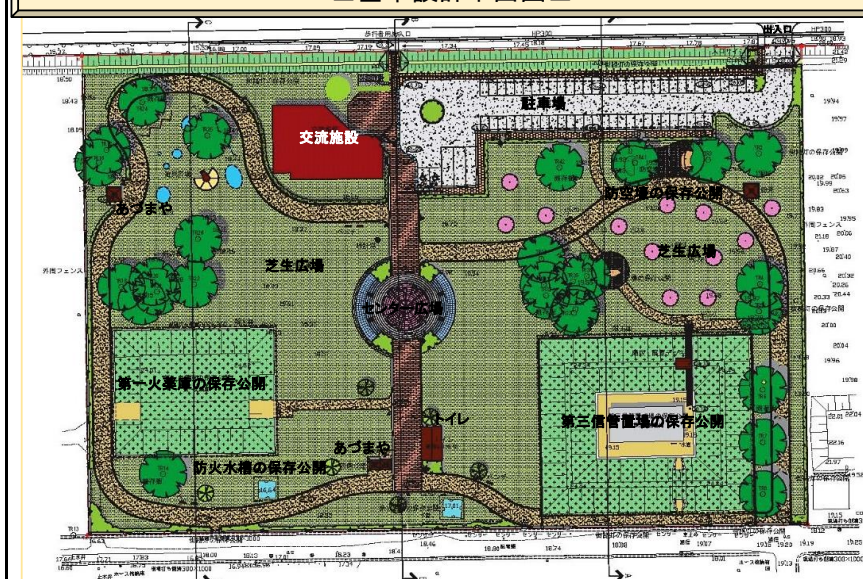
平成25年度に「豊川市平和公園（仮称）整備検討委員会」において基本構想案を取りまとめ、平成26、27年度に公園、交流施設の設計を行いました。

平成28年度は、交流施設の実設計、磁気探査、造成工事などを行います。

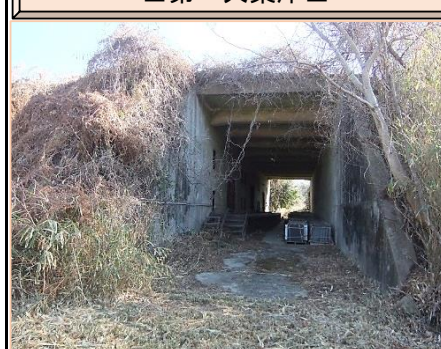
【事業概要】

- ・磁気探査 42,900千円
- ・造成工事 246,700千円
- ・用地購入 589,697千円
- ・交流施設等設計 23,600千円

■基本設計平面図■



■第一火薬庫■



■第三信管置場■

担当課：公園緑地課
生涯学習課

TEL：0533-89-2176
0533-88-8035

空家等対策推進事業

事業費 10,471 千円

◆空家等対策事業を実施します。

適切な管理が行われていない空家等は、防災、衛生、景観など地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす恐れがあります。生活環境を保全し、住みやすい街づくりを進めるために、以下の空家等対策事業を実施します。

【相談窓口の一本化】

空家等の対策事業は、建築、防犯、防火、環境及び衛生など多岐にわたり、関係課が多いため、相談窓口を建築課住宅係に一本化し、市民サービスの向上を図ります。

【空家等対策協議会の設置】

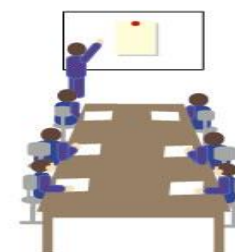
空家等対策の推進にあたり、各方面からの意見集約の場として、空家等対策協議会を設置します。

【実態調査】

空家等の実態を把握します。



事業予定	相談窓口	協議会	実態調査	対策計画
平成28年度	↓	↓	↕	
平成29年度	↓	↓		↕
平成30年度以降	↓	↓		



担当課: 建築課

TEL: 0533-89-2144

立地適正化計画策定事業

事業費 8,800 千円

◆コンパクトシティを推進するため、立地適正化計画を策定

平成28年4月からスタートする第6次総合計画で示される集約と連携によるまちづくり（コンパクトシティ+ネットワークによるまちづくり）を推進するため、立地適正化計画を策定します。

【立地適正化計画の概要】

立地適正化計画は、都市再生特別措置法の一部改正により市町村が策定できるようになった計画です。

人口の減少や高齢化の進展のもと、豊川市が暮らしやすいまちであり続けるために、将来に向けた居住誘導のあり方を定め、日常生活を送るうえで必要な商業や福祉、医療などの施設を計画的に誘導する計画です。

- ・事業名 立地適正化計画策定委託
- ・事業費 8,800千円
- ・作業期間 平成29年3月完了（予定）

立地適正化計画のイメージ

居住誘導区域

人口減少の中にあっても一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域



都市機能誘導区域

医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約することにより、各種サービスの効率的な提供が図られるよう、これらの施設を誘導すべき区域

誘導施設の整備や公的不動産の有効活用に関する支援等を通じ、立地適正化計画に基づくコンパクトなまちづくりを支援

公共交通の確保

- ・居住誘導区域内に居住する人々の都市機能への交通アクセスを確保

担当課：都市計画課

TEL：0533-89-2147

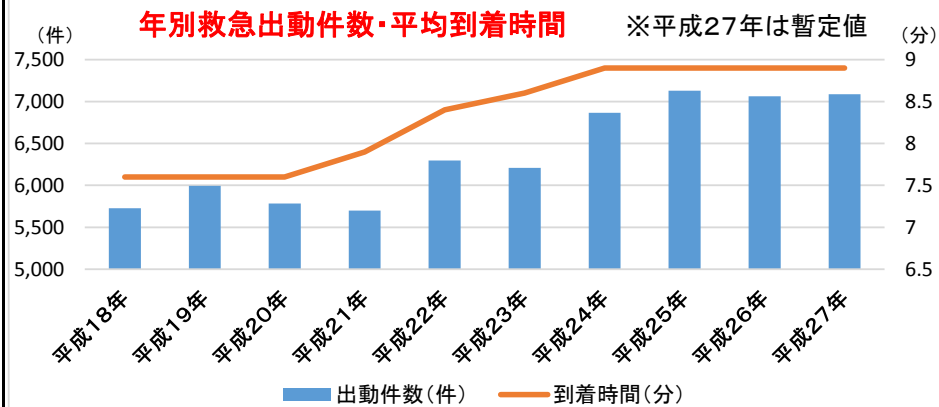
高規格救急自動車整備事業

事業費 60,770 千円

◆ 高規格救急自動車6台運用体制を開始します。

救急車の年間出動件数は増加し、平均到着時間も長くなっています。

119番通報から現場に到着する平均時間を短くし、救命率の向上を図るため、高規格救急自動車を更新するとともに、1台増車し、現在の5台から6台運用体制に強化します。



年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出動件数(件)	5,728	5,994	5,784	5,699	6,297	6,208	6,865	7,129	7,063	7,089
到着時間(分)	7.6	7.6	7.6	7.9	8.4	8.6	8.9	8.9	8.9	8.9



担当課：総務課

TEL：0533-89-9517

災害用マンホールトイレ整備事業

事業費 70,809 千円

◆ マンホールトイレを整備します。

南海トラフ地震などの大規模災害では、避難所のトイレ数の不足や、上下水道施設が被災しトイレが使えないことが想定されます。災害時におけるトイレ機能の確保は、被災者の健康確保のためにも大変重要です。

このため、主要避難所となる市内の全小中学校に、マンホールトイレを整備していきます。

【マンホールトイレ整備計画】

平成28年度：6小中学校

平成29年度：5小中学校

平成30年度：8小中学校

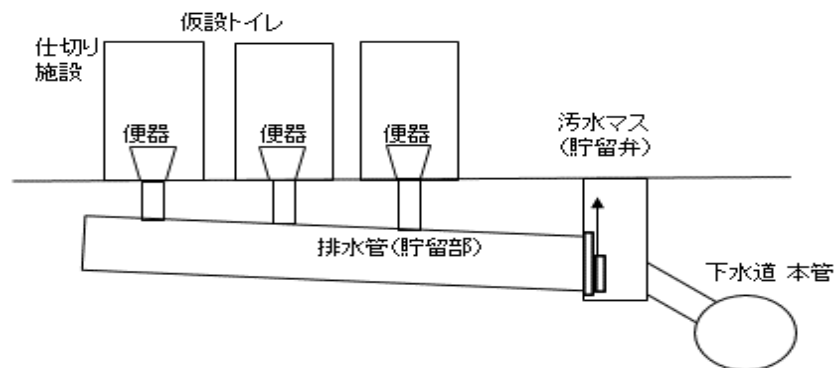
平成31年度：9小中学校

平成32年度：8小中学校

マンホールトイレイメージ図



マンホールトイレ構造図



担当課： 防災対策課
下水整備課

TEL: 0533-89-2194
0533-93-3115

小中学校環境対策事業

事業費 190,425 千円

◆普通教室空調設備設置事業【33,000千円】

子どもたちの健康面への配慮と学習環境の向上を図るため、小中学校の普通教室に空調設備を設置します。

平成28年度は工事に向けた実施設計を行います。

平成29年度に中学校、平成30、31年度に小学校へ空調設備を設置する予定です。

◆トイレ改修事業【157,425千円】

生活環境の変化、多様なニーズに対応するため、小中学校校舎の老朽化したトイレの改修工事(洋式化及び多目的トイレの新設)を実施します。

平成28年度は7校の実施設計と、5校の改修工事を行います。



空調設備設置例（天吊型エアコン）



トイレ改修工事例（桜木小）

担当課：庶務課

TEL：0533-88-8032

萩小学校校舎改修事業

事業費 **252,738** 千円

◆萩小学校校舎の老朽化に伴い、耐震性が低下した校舎の耐震性確保のための補強工事と、施設の大規模改修工事を実施します。

工期：平成28年7月～平成29年3月（予定）

一宮東部小学校校舎改修事業

事業費 **13,500** 千円

◆一宮東部小学校の南校舎東棟及び西棟は、それぞれ昭和35年度、昭和40年度に建設された校舎で、老朽化が進んでいるため、南校舎の大規模改修工事を実施します。
平成28年度は、工事に向けて実施設計を行います。



萩小学校校舎



耐震補強例（代田小）



改修前



改修後

大規模改修工事例（八南小）

【萩小学校 工事概要】

耐震補強工事	補強ブレースの新設
大規模改修工事	校舎外壁及び内壁の改修 教室やトイレの改修 老朽化した各設備の更新

担当課：庶務課

TEL：0533-88-8032

学校教育における英語力パワーアップ事業

事業費 2,045 千円

平成32年度から、小学校高学年に英語科、中学年に英語活動が新設され、中学校の英語授業をオールイングリッシュで行うなど、英語教育の改革が実施される予定です。

本市ではその改革に向け、英語授業の改善を図り、英語に慣れ親しむ環境を整え、英語教育の充実を図ります。

【平成28年度実施内容】

- ・ 全小学校に、DVD教材を配布
- ・ 教員を対象に英語教育研修会を実施
- ・ イングリッシュ・デイキャンプを実施

☆小学校にDVD教材を配付☆

平成32年度から導入が予定されているモジュール学習(10～15分の短時間学習)に対応できるよう、10～20分の短い時間で見られるDVD教材です。モジュール学習だけでなく、英語活動や低学年の国際理解教育にも活用していきます。

☆英語教育研修会☆

小学校全教員と中学校英語教員を対象に研修会を実施します。

講演会だけでなく、小学校や中学校での授業研究会なども行い、教員の英語授業力アップを目指します。



☆イングリッシュ・デイキャンプ☆

目的: AETやボランティアスタッフとオールイングリッシュによる共同の時間を送ることで、英語や異文化に対する興味・関心を高め、英語を話すことの楽しさや大切さを感じ取る。

日程: 夏休みに日帰り3日間

対象者: 市内の小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒

定員: 30～36名(応募多数の場合は抽選)

内容: ①Let's go to the zoo!(のんほいパークでウォークラリー)
②Let's cooking!(調理実習、交流タイム)
③英語による発表会(スピーチ、プレゼンテーション)

担当課: 学校教育課

TEL: 0533-88-8033

旅籠大橋屋保存整備事業

事業費 14,271 千円

◆旅籠大橋屋(市指定文化財)の保存活用に向けた工事の実施設計を行います。

平成27年9月に所有者より寄付を受けた、旅籠大橋屋の保存活用のための耐震・改修工事等(平成29・30年度予定)の実施設計を行います。

【旅籠大橋屋】

- ・旧東海道赤坂宿の江戸時代の旅籠
- ・木造瓦葺二階建(1階142.99㎡、2階106.67㎡)
- ・平成26年度の文化財調査により、一部の建具や内装に改変はあるが、軸組には手が加えられず、残存状況が良いことが明らかとなっている。



大橋屋外観



1階の土間・板間



2階の座敷

担当課: 生涯学習課

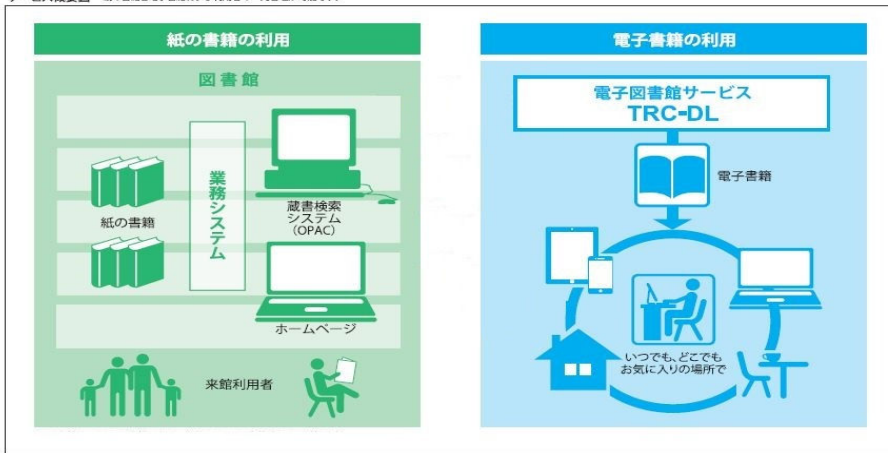
TEL: 0533-88-8035

電子図書館管理運営事業

事業費 2,247 千円

◆平成28年2月2日より電子図書館サービスを開始
 電子図書館とは、スマートフォン等を使用して、電子書籍の検索、貸出、返却、閲覧できるサービスです。自宅だけでなくインターネット環境があれば、外出先でも利用できます。
 (通信料は利用者の負担となります。)

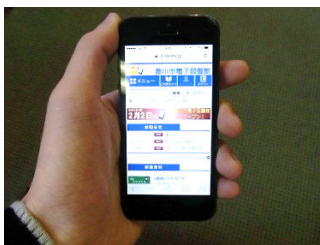
サービス概要図 紙の書籍と電子書籍および利用者の一元管理が可能です。



電子図書館イメージ画像 (パソコン)



電子図書館イメージ画像 (スマートフォン)



電子図書館書籍数
 芥川龍之介、ドストエフスキーなど、著名な作家の書籍
 約1,000冊
 生活や人生に役立つお役立ち文庫
 約3,000冊

担当課：中央図書館 TEL：0533-85-5536